



大学生の力を活用した集落復興支援事業

—福島県湯川村堂畑地区の事例から—

福大ゆがわ調査隊
(福島大学行政政策学類
岩崎ゼミ3年)

岩崎ゼミの紹介

- **テーマ：農山村地域の再生を考える**

福島大学行政政策学類 岩崎ゼミでは、昨年度から湯川村堂畑地区で「農山村地域の再生を考える」をテーマにして活動してきました。

日本は2008年をピークに人口減少社会に転じ、今までの成長社会を前提とした地域づくりとはまったく違う方法が求められています。そこで、人口減少・超高齢化社会の“先進地”である農山村地域からこれからの地域づくりを学ぶことが必要だと考えています。

湯川村堂畑地区の概要

○地区の概要(2016年9月現在)

- ・人口 213人 (男103人・女110人)
- ・世帯数49戸、うち農家数33戸
- ・水稻を中心とした第二種兼業が主
- ・高齢化率25.4% (村全体30.5%)
- ・キョウダイブン(兄弟分)といった相互扶助の慣習が残る
- ・若者の減少により、これまで青年団が担当していた神楽は2016年度より休止→地域住民の高齢化、後継者層の域外居住などに伴い、集落の活力低下が懸念

▼福島県地図



「会津のへそ」と言われ、
会津盆地のほぼ中心に位置

○大学側: 行政政策学類専門演習の活動として実施、県「大学生事業」にも参加。
2016年度は湯川村からの受託事業、2017年度より「サポート事業」からの支援

1年目(2016年度):集落の実態調査

①集落での生活・営農状況及び集落活性化に対する意識調査

- ➡ 戸別聞き取り調査(32戸)
書面アンケート調査
(高校生以上の住民対象、回答者72名)



②学生の中から見た集落の「お宝」の発見

- ➡ 集落内のフィールドワークを元に
地域資源カード、地域資源マップを作成



③集落行事や村のイベントへの参加

- ➡ 集落の祭礼、運動会、収穫祭、
村のイベント(新米祭)でのマルシェの実施など



地域資源カードの作成、マップ化

湯川村 堂畑地区 地域情報カード

タイトル
農作業を行う後ろ姿
キーワード
農家、一生涯、農作業

撮影年月日:2016年9月6日
記入者名:三浦 美優
カード番号:03



農家の方々が一生涯農作業を行っている姿。

朝、公民館に訪れた際、田んぼで作業している農家の方を見かけた。聞き取り調査でも朝4時から農作業を行っている。勤務している人も朝、田んぼの状況を見て仕事して、夕方帰ってきて田んぼの状況を見てと、丁寧な農作業を行っているからこそ、おいしいお米が出来るのだと感じ、農家の方は宝物なのではないかと思ひあげた。また、農家の方には作物の状況を見て肥料が足りないなどがわかるらしい。

湯川村 堂畑地区 地域情報カード

タイトル 用水路
キーワード 水、生活

撮影年月日:2016年9月4日(日)
記入者名:室井 亮哉
カード番号:18



地区の暮らしを支える用水路。地区の人々が共同で掃除をすることによってきれいに保たれている。

用水路は、多くの人々が稲作を行っている堂畑地区には欠かせないものである。用水路の中には小さな魚が泳いでおり、きれいに掃除されていることが感じられた。

湯川村 堂畑地区 地域情報カード

タイトル
おばあちゃんお手製のなす漬
キーワード
手作り、なす漬

撮影年月日:2016年9月6日
記入者名:蝦名 智美
カード番号:32



聞き取り調査の際にいただいたとれたてのナスで作ったお手製のなす漬

渡部通さんのお宅に聞き取り調査に訪れた際にいただいたなす漬。なすが一口サイズになったら収穫し、ミョウバン、お塩、お砂糖で味をつけて一晩おくと出来上がり。とれたてのなすで漬けられていて、とてもおいしかったです。

湯川村 堂畑地区 地域情報カード

タイトル 小久保さん特製トマトジュース
キーワード 手作りトマト、トマトを使ったトマトジュース

撮影年月日:2016年9月3日(土)
記入者名:照井 あすか
カード番号:33



小久保さん手作りのトマトジュース。

小久保さんの奥さんは、多くの野菜を作っています。特に手作りトマトを使ったトマトジュースはサラサラで飲みやすくてとてもおいしかったです。トマトジュース作りの名人「小久保さん」と一緒にお宝だと思います。

実態調査を踏まえ、集落活性化に向けた三つの提案

(2017年度実施)

① 「**堂畑マルシェ**」の継続的な開催

+ 学生が作成したパンフレットでの **情報発信**



② 「**堂畑活性化サロン**」の開催

子供と若い世代
も含めた
住民との交流



③ サロンの活動内容を **SNS** で発信する

→ 村内外に地域の魅力をアピールさせる！

2年目(2017年度)活動内容

● 年間スケジュール

2017年2月11日	県主催「まちづくりオープンカフェ」報告会
2月22日	現地発表会
6月6日	第1回堂畑活性化サロン: 役場でのお話、堂畑地区でのワークショップ
6月23日	にこにこ学級、もちつき、健康体操
7月28日	第2回堂畑活性化サロン:
29日	わくわく子ども勉強会、道の駅子どもマルシェ
8月20日	第3回堂畑活性化サロン:
21日	湯川村合併60周年記念祭、堂畑での野菜植え付け
9月2日	第4回堂畑活性化サロン:
3日	道の駅・屋台村見学、協力隊染谷さんのお話、マルシェ出品 農家インタビュー、湯川村村民運動会参加
10月7日	湯川村新米祭り運営の手伝い、 堂畑マルシェ
8日	
10月28日	福島大学祭:堂畑マルシェ
29日	

※赤文字は昨年度の提案を実現した今年からの活動

2つの活動をピックアップ

○7月28日～29日

➤ 第2回活性化サロン

「夏休みこどもわくわく勉強会」、
道の駅での「こどもマルシェ」

○10月28日

➤ 福大祭で「堂畑マルシェ」の開催

第2回堂畑活性化サロン

「こどもわくわく勉強会」(2017/07/28)

◇活動概要

夏休みに合わせて堂畑区の子どもたちと学生が交流を図った。

(内容)

- ・子供たちの宿題のお手伝い
- ・トイカメラを使った堂畑区探索
- ・夜ご飯のカレーライス作り
- ・花火
- ・親世代との懇談会 など



「こどもマルシェ」(17/07/29)

◇活動概要

「道の駅あいづ湯川・会津坂下」で、堂畑地区の子どもたちと大学生が中心となって堂畑で採れた野菜の販売を行った

◇ねらい

堂畑のお宝・地域資源である

「子どもたち」×「豊かな野菜」を掛け合わせ、堂畑区の新たな魅力の創出。

(当日の様子)

野菜の仕分けやポップづくりなど準備から

子どもたちと一緒にいき、堂畑地区の

野菜をPR、販売！

大盛況となりました！



堂畑マルシェのロゴマーク作成

(デザイン: 岩崎ゼミ3年橋本裕貴)

◇デザインの意味

オレンジの円=太陽

下の稲と3色の楕円=堂畑の野菜



堂畑地区 × 福島大学

全体的に花に見えるような構図で

堂畑の自然の豊かを表現したデザイン

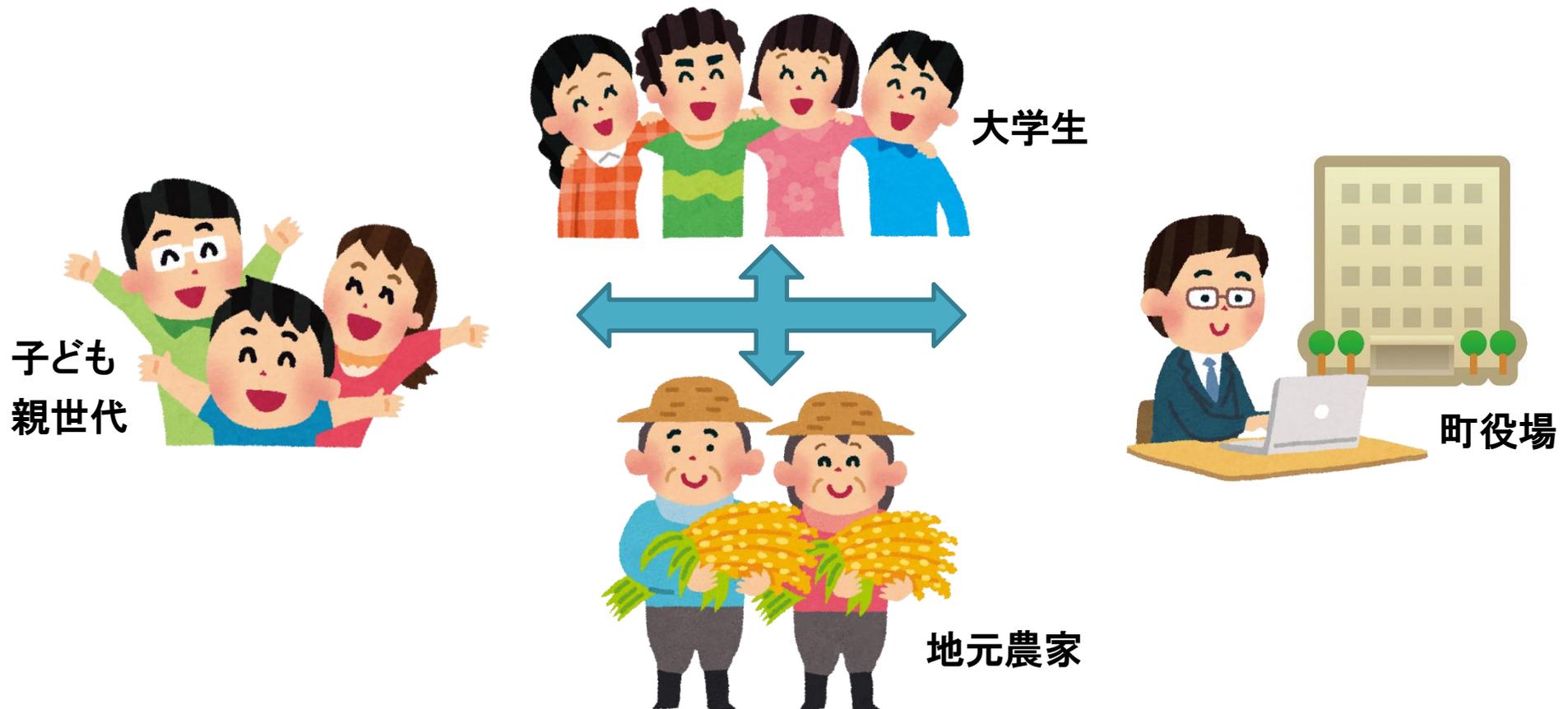
マルシェのエプロンや缶バッジに!



世代をつなぐーコミュニティ再生

◇「子どもマルシェ」を通して

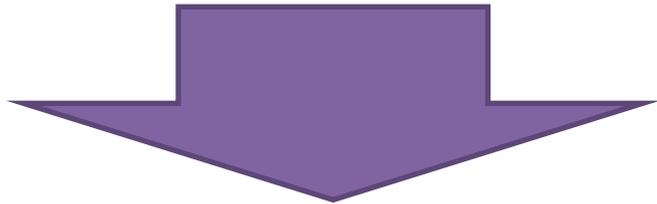
堂畑地区の子どもたちや農家だけでなく、親世代とも協力し、マルシェを成功させることができたことで、多くの世代をつなぐ活動ができた。



福大祭での「堂畑マルシェ」の出店①(17/10/28)

◇活動の概要

堂畑地区の方から「ぜひ福島大学に行ってマルシェをしたい！」という提案から、堂畑マルシェを福大祭で出店。野菜提供農家の方々にも当日福島大学に来てもらい、いっしょに販売・呼び込みを行った。



学生は勿論、地域の方々も、野菜生産・販売に積極的に関わるきっかけとなり、意欲の向上につながった。



▲湯川村堂畑地区の方々



▲新聞にも取り上げていただきました 13

福大際での「堂畑マルシェ」出店②

◇良かった点

- ・堂畑地区の方が 自発的に提案 して実現した活動だったこと
- ・自ら販売することで 農業へのやりがい につなげたこと



◇反省点

- ・大学と地区との事前の調整が足りず、出荷量が多くて準備が追いつかない場面も。

今年度の成果・来年度への課題①

- 今年度の活動

- 堂畑マルシェ(福大祭でのマルシェ)
- こどもマルシェ
- 堂畑サロン
- SNSの活用(Twitter: @IY_fukushima)

- 成果

- 地域住民から「来年も福大祭でマルシェをやりたい」、「加工品を売りたい」など、自発的な声が上がった
- マルシェの開催に付随して農業の活気がUP

今年度の成果・来年度への課題②

- 反省点
 - 大学生と堂畑地区との事前の打ち合わせや連絡調整が足りず、準備作業等が大変だった。
 - 堂畑地区の企画に参加する受動的な活動が多く、農家さんとの交流が主だった。
- 来年度への課題
 - 大学生の目線から考えた堂畑マルシェや活性化サロンを学生が自発的に提案し、堂畑の新たな地域資源の発見を目指す
 - 子どもたちや若い世代との交流を増やす

今後の提案

□具体案

- 子どもたちと堂畑地区をまち探検する。そこで新しい地域資源マップを作成する。
- 子どもたちやその親御さんたちと一緒に野菜の収穫体験や料理を行う。
- 子どもたちやその親御さんたちとともに堂畑の野菜や生産者について学ぶ。
- マルシェやサロン、その他の活動によって感じたことを地域住民の方々にワークシートにまとめてもらい、学生がサポートする。
- 子どもたち自身にマルシェのチラシを制作してもらおう。